

2021年9月16日(木)9時

## 令和2年度 秋卒業式

100年になろうとする大学の歴史に、今日、6名の方がその名を刻みます。

今日の卒業式をともに迎えることができるのは、国際文理学部国際教養学科の3名の学生、大学院人文社会研究科博士前期課程の学生1名、そして大学院人間環境科学研究科博士後期課程の学生2名、合わせて6名の皆さんたちです。本日晴れて卒業、あるいは修了する日を迎えることができたこと、まことにめでとございます。課程に応じて、学士、修士そして博士の学位を、この福岡女子大学で取得できたことを、誇りにしてください。そしてご家族の方々と、是非この喜びを分かち合ってください。

私はこの4月の学長就任以来、繰り返し、本学をアカデミック職能集団であるギルドに喩えてきました。学問と技能の受け渡しを通して、或いは個人的な悩みや社会の諸課題についての語り合いを通して、或いはまたサークル活動を通して、仲間との強い人的結合が生まれるのが大学であると信じるからです。大学で育まれた絆は、将来の大きな財産です。仲間や教職員とのコミュニケーション、卒業論文や学位論文の作成過程における学問との深く、真剣な対話を通して、異質なものの考え方、新しい言葉づかい、これから自身が依って立つ基盤を獲得できたものと信じます。

6名の方は、それぞれに異色です。海外留学を経験した人、また国際学生として本学で学ばれた人、職を持ちながら大学院で研究課題を追及された人たちです。このような多様な学生を持てたことは、本学にとっても誇るべきことです。とりわけ、2年という短期間のうちに、学位論文を書き上げ、博士の学位を取得されたお二人には、大きな賛辞を贈りたいと思います。

福女大は2年後に創立100周年を迎えます。意欲的な取り組みを構想し、それを実行する過程にあります。皆さんの成長とともに、大学も絶えず変革を続けます。本学ギルドのメンバーとして、ここで身につけた知見・技・姿勢を、プライドを以て是非、社会で発揮してください。大学は卒業生を見守り、支援いたします。これを互いの約束事としたいと思います。卒業、修了、おめでとうございます。ご活躍を祈念いたします。